

くすやま美紀(樟山みき)活動報告



2020. 9. 16 NO. 285

連絡先 荻窪5-15-19-704 電話 080-5531-8236

区議会控室 3312-2111(内)2319 FAX 3312-2610

新型コロナ 対策

感染減少の今こそ PCR検査の抜本的強化を！



9月10日、議場にて

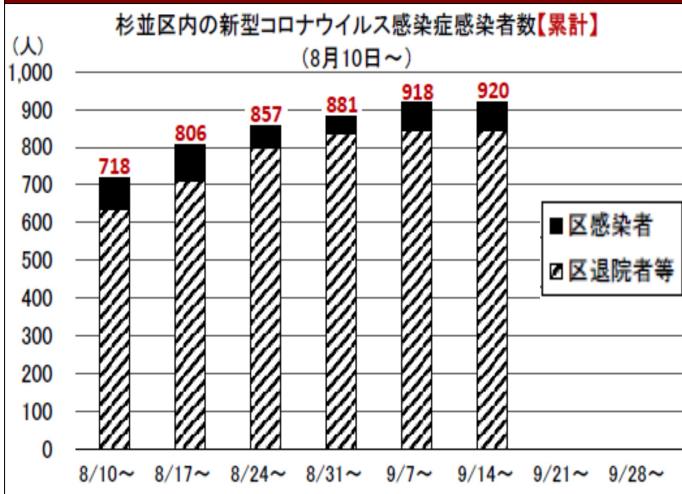
区は「更なる感染症対策強化が必要と認識している。基幹病院での発熱外来に加え、かかりつけ医でのPCR検査実施の拡充、軽症や無症状者の検体を効率的に採取するPCR検査スポットの設置、検査バスの導入などで、着実に検査体制強化を進めて行く」と答弁しました。

「着実に検査体制強化を進めていく」と答弁

9月9日から始まった区議会第3回定例会で、新型コロナウイルス感染症対策と国民健康保険について一般質問を行いました。

新型コロナウイルスの新規感染者数は、8月中旬以降、都全体でも杉並区でも減少傾向にあります。日本医師会会長は「収束に向かっているとは言えない」「医療現場はひっ迫状況にある」と訴えています。新規感染者数が減ったから検査も減らすということになれば、無症状の感染者が、水面下で感染の連鎖をつなぎ、感染がくすぶり続けてしまいます。私は、感染拡大を抑え込むために総力をあげて対策を取る局面であり、今この時期にこそ、検査の抜本的強化に取り組みべきと迫りました。

杉並区内の新型コロナウイルス感染状況



エッセンシャルワーカーへの 定期的な検査の実施を

検査体制の強化として、医療、介護、福祉、保育、学校等、集団感染のリスクが高い施設に勤務する職員への定期的なPCR検査の実施を提案しました。区は「高齢者施設の職員、入所者に対するPCR検査は、今後、東京都が実施する予定と聞いている」と答弁。区としては、現在行っている検査体制を圧迫し兼ねず、検査の効率性や費用対効果などからかんがみて実施する考えはないとの認識を示しました。都が実施を表明したことは歓迎すべきことですが、高齢者や障害者施設に限られています。国や都が実施しない分を区が行っていくことが重要であり、「費用対効果」などを持ち出すことは問題です。

(裏面に続く)

週ごとの感染者数(2年9月14日現在)								累計(注)
区感染者	87	88	51	24	37	2		920
区退院者等	98	75	87	39	7	0		843
都感染者	1,847	1,619	1,384	1,055	1,231	80		23,083

(注)累計には8月9日までの区感染者631人、区退院者等537人、都感染者15,867人を含む。

お困りごと・ご相談は、お気軽に上記連絡先まで、お電話ください

新自由主義の政治のあり方が問われている

コロナ危機を通じ、経済効率優先で、社会保障を切り捨て、自己責任を押し付けてきた新自由主義の政治のあり方が問われています。私は「自己責任が強調され、医療、社会保障費の削減、ベッド数の抑制、保健所の縮小などが行われてきたことに目をむけるべき時ではないか」と区の認識を質しました。

区は「保健所組織の改編は、地域保健サービスの一層の充実と質の向上を目的に実施した」としか答えず、再質問の答弁では「今振り返って過去の施策が間違いだったという認識にはない」と強弁しました。

長期的な視点に立った公衆衛生、保健所体制の強化を

感染症対策の要である保健所について、職員の多忙、コロナ対応の長期化、世界的な感染症の多発という新しい状況のもとで、職員の増員など体制の強化は急務だと迫りました。区は「必要な職員の増員や全庁的な応援態勢で強化を図ってきた。今後も状況に応じ必要な体制が組めるように検討していく」と答弁。長期的な視点にたった保健所体制の強化には言及しませんでした。

30日から始まる決算特別委員会でも、新型コロナ対策の強化を求めています。

国民健康保険料負担軽減を迫る

国民健康保険についての質問では、今年度改定される「東京都国民健康保険運営方針」について取り上げ、保険料負担の連続値上げを押しつける改定にしないよう、東京都に積極的に働きかけるべきと求めました。

また、区長は、先の予算特別委員会でも、私の質疑に関し「今後コロナで経済状況がどう落ち込んでいくか非常に不安に駆られる」「厳しいところに、この人たちが追い詰めら

れかねないことがわかっています」と発言したことに触れ、被保険者はまさに追い詰められた状況にあり、区として、少なくとも来年度の国民健康保険料は値上げをしない、子どもの均等割り軽減など負担軽減策を行うべきと迫りました。

区は「他区とも連携し、国に引き続き要望していく。区独自の軽減措置は考えていない」と従来の答弁に終始しました。

厳しい区民の実態を認識しながら、負担軽減策を講じようとしないうちは問題です。

(※一般質問の全文と答弁の概要は、党杉並区議団ホームページに掲載しています)

安倍政治継承の自民党に未来なし 総選挙で決着を！



菅新政権が発足しました。

貧困と格差を拡大したアベノミクスを「さらにすすめる」と述べ、消費税の再引き上げまで表明。めざす社会像は？と問われて「自助、共助、公助」と答えたことに、多くのみなさんがとても期待は持てない—と感じたのではないのでしょうか。国民に自己責任を求め、公助は最後というのでは、一体政治は何のためにあるのか！怒りを通り越して情けなくなります。

日本共産党は、市民と野党の共闘の体制をしっかりとつくりあげ、総選挙で自民党政治を終わらせ、政権交代を実現するために全力をあげる決意です。